

## 【ベストプレゼンテーション賞選定記】

石井信明（第9回情報システム学会全国大会・研究発表大会 プログラム委員長）

2013年11月30日（土）、新潟国際情報大学新潟中央キャンパスにて、第9回情報システム学会全国大会・研究発表大会が開催されました。本大会では、昨年引き続きベストプレゼンテーション（BP）賞に加え特別賞が設けられ、中西勇真（同志社大学）さんがBP賞を、吉田智彦（青山学院大学大学院）さんがBP特別賞を、それぞれ受賞されました。

- ・ ベストプレゼンテーション賞

中西勇真（同志社大学）： 日本語記述と概念クラス図の双方向変換手法の提案

- ・ ベストプレゼンテーション特別賞

吉田智彦（青山学院大学大学院）： SSMによる要求分析と情報システム提案に関する報告～小規模飲食店（A店）における実践事例～

BP賞、BP特別賞の選定にあたっては、投稿された論文を基にプログラム委員が事前の書類審査を行い、その結果、BP賞候補7篇、特別賞候補7編をそれぞれ選定しました。大会当日は、プログラム委員が手分けをして候補論文の発表を聴講し、大会終了後に、書き物（論文）と発表を総合評価した結果、最初に記載したように、各賞が決まりました。

BP賞の中西勇真さんの発表については、情報システム研究に欠かせない言語とモデリングの関係を扱った挑戦的な研究であり、かつ、実装の努力をしている点が高く評価されました。日本語の特性を考慮した研究である点も、評価されました。情報システム学会の研究テーマとして、さらなる広がり期待します。

特別賞の吉田智彦さんの発表については、SSMに基づいたシステムの設計、提案をアルバイト先での現場の改善に活用した実践的報告であり、学生目線からのSSMの適用事例の意味で特別賞として相応しいとの判断になりました。本論文は、今後、適用効果の分析、手法の改善提案などを加えることで更なる研究の深化が期待できます。

BP賞、BP特別賞については、来年度以降も引き続き選定を行う予定です。今後も研究発表をよろしく願います。